

平成 19 年 6 月 4 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 42 回）のご案内

会長 三浦哲彦

日 時：平成 19 年 6 月 27 日（水） 14 時～16 時

場 所：建設業協会佐賀、2 階会議室

佐賀市兵庫南 2-13-15 電話 0952-24-2711

話 題：『バンコク第二国際空港における誘導路等の舗装破壊について』

講演者：アジア工科大学教授 D.T.ベルガド氏

（日本語による解説を行います）

概 要：バンコク第二国際空港が開港してから 2 ヶ月後、誘導路と飛行機の待機場所において、舗装面の破壊が確認されました。詳細については調査中であるが、原因はバーチカルドレーン工法（PVD）による軟弱地盤改良に起因するものではなく、舗装構造の欠陥によるものと考えられています。

プレロード盛土（砂層）と PVD の改良により原地盤は 1.6m 沈下しました。この上に舗装が施工されたようです。舗装構成は、表層 4cm、基層 6cm、路盤 23cm の 3 層であり、その下に 72cm 厚さのセメント改良層が施されました。舗装の下には、砂層（路床）からの排水を処理する層は設けられていなかったようです。

また、砂層（路床）は、周辺の排水路への接続が不十分であったために非排水に近い状態であり飽和していたと判断されました。機体による繰返し荷重で砂層（路床）において過剰間隙水圧が発生し、セメント改良層のクラック等を通して舗装に水が浸透し、結果的にアスファルト層に影響を及ぼして破壊するに至ったと考えられます。

損傷した箇所的大部分は、2006 年 9 月の開港に間に合うように、多くの施工業者により大急ぎで施工されたためにこのような問題が発生したのではないかと考えられています。

今回の事故を他山の石としたいと思います。

※参加希望の方は必ず事前にメール、または FAX でご連絡ください。

当日の申し込みは出来るだけご遠慮下さい。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。

それ以外の方は資料代（¥500）。

=====
研究会担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: jimukyoku@sunny.ocn.ne.jp

Tel:0952-41-8840/Fax:0952-41-8373

Address:〒840-0811 佐賀市大財 4 丁目 1 番 52 号

軟弱地盤研究会事務局

=====